

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21111	(上水)震災対策事業(体制構築)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	2
21122	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートB	3
51211	(上水)導・送・配水管整備事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	5
51211	(簡水・中島)導・送・配水管整備事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	6
51211	(簡水・北条)導・送・配水管整備事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	7
51211	(工水)導・送・配水管整備事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	8
51212	(上水)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	9
51212	(簡水・中島)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	10
51212	(簡水・北条)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	11
51212	(工水)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	12
51212	(上水)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	13
51212	(簡水・中島)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	14
51212	(簡水・北条)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	15
51212	(工水)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	16
51212	(上水)地図情報・図面管理等	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	17
51212	(簡水・中島)地図情報・図面管理等	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	18
51212	(簡水・北条)地図情報・図面管理等	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	19
53323	(上水)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	20
53323	(簡水・中島)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	21

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	担当者名	技師	林 駿太郎	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主幹	担当者名	技師	猪野 恭平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21111	(上水)震災対策事業(体制構築)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	危機管理体制の強化				市長公約	-		
取り組みの柱	危機事象に応じた体制の構築					-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2009 水道ビジョンまつやま2019							
事業の目的(どのような状態にするか)	災害等に強い水道を構築するため、災害時に必要な水道資機材の確保を順次進めていく。							
背景(どのような経緯で開始したか)	国が示した「新水道ビジョン」および「経営戦略」を基に、松山市公営企業局が「水道ビジョンまつやま2009・2019」を策定した。このビジョンが示す目標の1つである「地震などの災害に強い水道を構築します」を実現するため、平成21年度から実施している。							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・貯蔵品の購入 ・仮設給水栓の購入							
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	平成	21	～	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用		営業費用		目	配水及び給水費	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度	R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				99,062					3,936		26,057
決算額(B)(単位:千円)				70,974					4,320		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金					0		0
				県支出金					0		0
				市債					0		0
				その他					0		0
			一般財源	70,974					4,320		26,057
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								危機管理計画に基づく管材料等の備蓄:3,936千円			水道管路管理種の建設及び周辺整備:24,200千円 危機管理計画に基づく管材料等の備蓄:1,857千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		28,088					-384		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・災害時修繕用の大口径水道管等の購入 ・応急給水栓及び仮設給水タンク等の購入							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	災害時修繕用の大口径水道管や応急給水栓等の購入が滞りなく進んだため、防災体制をより向上させることができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	災害時に入手困難な資材(大口径水道管等)の確保が進み、防災体制の向上を図ることができたため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し							
R3年度の目標	災害時修繕用の大口径管をはじめとした貯蔵品を随時購入していく。災害時にも円滑に資材の運用ができるよう、倉庫の管理体制を整える。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・貯蔵品の購入 ・仮設給水栓の購入 ・水道管路管理センター東側駐車場整備工事		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特に無し

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路移設・整備担当	連絡先	989-8475
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	三原 正幸	担当者名
							主査	永見 健輔

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21122	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(水道管路管理センター分)			事業性質	1-1:自治事務(実施規 定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設 計委託含む)	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔 プログラム	311	個別プログラム	笑顔を守るプログラム	
政策	災害等に強いまちをつくる						重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト	
施策	防災対策等の推進						主な取り組み	協働による防災活動等の推進	
主な取り組み	市有施設の耐震化				市長公約	332	みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくります		
取り組みの柱	上下水道施設の耐震化						空き家対策やリフォームのほか、木造住宅の耐震化を支援し、住環境をさらに整えます。また、西条分水を基本にした新規水源の確保など、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。		
総合戦略	4223	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			取組み	③ 地震等の災害に備え、水道事業では主要な水道管である基幹管路の耐震化を進めます。さらに、救急医療機関や指定避難所になる小中学校など重要施設への給水ルートを確保するため、計画的に水道管の耐震化を進めます。また、下水道事業では平常時から机上型訓練を実施し、被災時に十分機能する体制を強化するとともに、施設の耐震化及び災害用トイレの設置を行います。さらに、大きな浸水被害等が想定される箇所に対し、重点的な対策を計画的に進めます。		
		政策	②生活の質と都市力の向上						
		施策	②安全・安心な暮らしの推進						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)		1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等		水道ビジョンまつやま2019							

事業の目的 (どのような状態にするか)	地震等の災害によって大規模かつ広範囲に被害が生じた場合に、被災した市民が出来るだけ早く主に飲用水として利用できるよう、避難所となる小・中学校に応急給水栓を整備する。							
背景 (どのような経緯で開始したか)	平成26年8月から平成27年11月の間、都市企業委員会が調査・研究を行ってきた「水道事業における震災対策の取り組みについて」の中で、提言のあった「避難所となる小・中学校への応急給水拠点整備」を実施する事業である。							
対象・事業内容 (誰に対して,何をやるのか)	給水区域内の避難所となる小・中学校(74校) 大きな地震が起こったときに、できるだけ早く水道水を届けるために、避難所となる小・中学校に「応急給水栓」を整備していく。 ・応急給水栓は、簡単な手順でホースと組み立て式蛇口を取り付けることができ、地元の自主防災組織などで、いち早く応急給水拠点を開設することができる。 ・応急給水栓は、令和6年度までに給水区域内の小・中学校に整備していく。							
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	29	～	令和	6	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出ほか		水道建設改良費ほか		配水施設費ほか		R2 予算措置時期	当初
				R元年度	項	R2年度	目	R3年度			
現計予算額(A) (単位:千円)				87,080		93,884		205			
決算額(B) (単位:千円)				82,932		87,828					
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
	一般財源			82,932		87,828		205			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				応急給水栓の設置:87,624千円		機能診断:205千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						応急給水栓の設置は、「(上水)震災対策事業(施設耐震化)(建設整備課分)」へ統合					
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)	4,148	6,056					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	久枝小学校、姫山小学校、福音小学校、素鷲小学校、粟井小学校、高浜小学校、難波小学校、正岡小学校、浅海小学校、立岩小学校 以上10校に応急給水栓を設置								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		令和元年度より、整備校数を増やしたが予定通り実施できた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		防災対策等の推進に貢献している。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し								
R3年度の目標	学校関係者と連絡を密にとり、円滑な事業の進捗管理を実施する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		石井小学校、石井北小学校、みどり小学校、清水小学校、味生小学校、味生第二小学校、道後小学校、湯築小学校、以上8校に応急給水栓を設置予定		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特に無し

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	応急給水栓設置数	校	目標値	19	29	39	47	57	目標値	74	
			実績値	19	29	39			達成年度	R6年度	
			% 達成度	100	100						
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	給水区域内の避難所となる小・中学校74校を対象としている。			
	本指標の設定理由	各年度末において、応急給水栓の設置が完了した箇所の累計。災害時における応急給水施設整備の進捗度を示す。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	令和元年度より、事業期間の短縮を図るため整備校数を増やしたが予定通り実施できた。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名				
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路移設・整備担当	連絡先	989-8475				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	三原正幸	担当者名	主査	永見 健輔	主査	高市 紀

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(上水)導・送・配水管整備事業(水道管路管理センター分)					事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	-			
施策	上水道等の整備						主な取り組み	-			
主な取り組み	上水道等の建設・維持					市長公約					
取り組みの柱	施設の建設改良										
総合戦略	基本目標	-					取組み				
	政策	-									
	施策	-									
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	水道法、道路法、河川法、松山市水道事業給水条例										

事業の目的(どのような状態にするか)	上水道工事以外の工事で支障となる水道管を本体工事に支障とならない位置に移設するもの、道路改良等の都市整備工事に並行するもの、水圧不良・管末の解消のため管網を整備するもの、市民の要望による特設配水管など、都市機能の根幹として配水管の整備・拡充を図るものである。									
背景(どのような経緯で開始したか)	・移設工事 道路改良工事や下水道管布設工事などの他事業に伴い発生するものである。 ・特設配水管 昭和42年4月から実施している制度であり、当時の上水道普及率が53.55%と松山市民の約半数以上上水道の恩恵に浴していなかった頃、配水管管網整備事業とともに更なる配水管の布設促進を目指して創設したものである。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・移設工事 国・県・市などの工事に伴い、水道管が支障になる場合に移設工事を実施する。 ・特設配水管 給水区域内の新規給水申込に対し、配水管が布設されていない場合に配水管を整備する。									
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由								
始期・終期(年度)	昭和	42	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出ほか		項	水道建設改良費ほか	目	配水施設費ほか	R2予算措置時期		当初	繰越
				R元年度	R2年度					R3年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)							1,286,392		1,451,414				131,461
決算額(B)(単位:千円)							882,140		1,045,486				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0				0
				県支出金			0		0		0		0
				市債			0		0		0		0
				その他			0		0		0		0
			一般財源			882,140		1,045,486				131,461	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							特設配水管の整備(一般):370,168千円 特設配水管の整備(開発):234,432千円 下水道工事に伴う配水管等の移設改良:222,216千円		管網の整備:125,480千円 その他の移設改良:5,981千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							決算額のうち,391,421千円は前年度繰越分		予算額のうち,52,500千円は前年度繰越分 *特設配水管は,新規で(上水)導・送・配水管整備事業(上下水道単一化課分)を作成,移管 *移設工事は,「(上水)導・送・配水管整備事業(建設整備課分)」へ移管				
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)					404,252		405,928				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	移設・整備工事 改良2移設6号山越2号污水管工事(19-2)に伴う配水管移設工事(西長戸町)、改良2移設5号中須賀2号雨水幹線工事に伴う配水管移設工事 など 特設配水管 156件 管路延長 7,276.6m									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	関係者との協議により繰越となった工事もあるが概ね予定通り実施できた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	都市機能の根幹として配水管の整備・拡充が図られているため。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし									
R3年度の目標	移設・整備工事 昨年度に引き続き,関係機関と連絡を密にとり,円滑な事業の進捗管理を実施する。 特設配水管 給水申込者の希望に沿えるよう,遅滞なく事業を実施する。	R3年度の主な取組み内容(予定含む)	移設・整備工事 整備3移設1号石井1号污水管工事(16-2)に伴う配水管移設工事,整備3移設2号山西3号污水管工事(15-3)に伴う配水管移設工事など 特設配水管 181件 管路延長 9,312m	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし					

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名				
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路移設・整備担当	連絡先	989-8475				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	三原正幸	担当者名	主査	永見 健輔	主査	高市 紀

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(簡水・中島)導・送・配水管整備事業(水道管路管理センター分)					事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	-				
施策	上水道等の整備						主な取り組み	-				
主な取り組み	上水道等の建設・維持					市長公約						
取り組みの柱	施設の建設改良											
総合戦略	基本目標	-					取組み	-				
	政策	-						-				
	施策	-						-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し								
根拠法令,条例,個別計画等	水道法、道路法、河川法、松山市水道事業給水条例											
事業の目的(どのような状態にするか)	上水道工事以外の工事で支障となる水道管を本体工事に支障とならない位置に移設するもの、道路改良等の都市整備工事に並行するもの、水圧不良・管末の解消のため管網を整備するもの、市民の要望による特設配水管など、都市機能の根幹として配水管の整備・拡充を図るものである。											
背景(どのような経緯で開始したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・移設工事 道路改良工事や下水道管布設工事などの他事業に伴い発生するものである。 ・特設配水管 平成17年1月の市町合併に伴い、上水道と同様に更なる配水管の布設促進を目指して実施することとしたものである。 											
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・移設工事 国・県・市などの工事に伴い、水道管が支障になる場合に移設工事を実施する。 ・特設配水管 給水区域内の新規給水申込に対し、配水管が布設されていない場合に配水管を整備する。 											
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等		「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	中島地区簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道資本的支出ほか	項	簡易水道建設改良費ほか	目	配水施設費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				18,866		26,844		0		
決算額(B)(単位:千円)				8,973		8,056				
内訳(単位:千円) ※R元→R2決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			8,973		8,056		0		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						特設配水管の整備(一般):4,392千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良に伴う整備は、新規で「(簡水・中島)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)」を作成、移管 ・特設配水管の整備は、新規で「(簡水・中島)導・送・配水管整備事業(上下水道サービス課分)」を作成、移管 		
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			9,893		18,788				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	移設・整備工事 改良2移設12号路面陥没対策工事に伴う配水管及び導水管移設工事 特設配水管 1件 管路延長 117.8m									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		事業が予定通り実施できた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		都市機能の根幹として配水管の整備・拡充が図られているため。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし									
R3年度の目標	移設・整備工事 昨年度に引き続き,関係機関と連絡を密にとり,円滑な事業の進捗管理を実施する。 特設配水管 給水申込者の希望に沿えるよう,遅滞なく事業を実施する。		R3年度の 主な取り組み内容 (予定含む)		移設・整備工事 現時点でなし。 特設配水管 1件 管路延長 80m		特に環境変化,障害, 課題等解決のため,R3 年度で取り組む改善策			特になし

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名				
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路移設・整備担当	連絡先	989-8475				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	三原正幸	担当者名	主査	永見 健輔	主査	高市 紀

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(簡水・北条)導・送・配水管整備事業(水道管路管理センター分)					事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	-				
施策	上水道等の整備						主な取り組み	-				
主な取り組み	上水道等の建設・維持					市長公約						
取り組みの柱	施設の建設改良											
総合戦略	基本目標	-					取組み	-				
	政策	-						-				
	施策	-						-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等	水道法、道路法、河川法、松山市水道事業給水条例											
事業の目的(どのような状態にするか)	上水道工事以外の工事で支障となる水道管を本体工事に支障とならない位置に移設するもの、道路改良等の都市整備工事に並行するもの、水圧不良・管末の解消のため管網を整備するものなど、都市機能の根幹として配水管の整備・拡充を図るものである。											
背景(どのような経緯で開始したか)	・移設工事 道路改良工事や下水道管布設工事などの他事業に伴い発生するものである。											
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・移設工事 国・県・市などの工事に伴い、水道管が支障になる場合に移設工事を実施する。											
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由								
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	北条地区簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道資本的支出ほか	項	簡易水道建設改良ほか	目	配水施設費ほか	R2予算措置時期		当初
									R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額(A)(単位:千円)								5,060			0
決算額(B)(単位:千円)								0			0
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金					0			0
			県支出金					0			0
			市債					0			0
			その他					0			0
			一般財源					0			0
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算											
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											・道路改良に伴う整備は,新規で「(簡水・北条)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)」を作成、移管
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)					5,060			5,060

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	移設・整備工事 該当工事なし。										
主な取り組み内容の達成度			↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			一定額を予算化していたが,対象工事が発生しなかったため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			都市機能の根幹として配水管の整備・拡充が図られているため。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし										
R3年度の目標	移設・整備工事 昨年度に引き続き,関係機関と連絡を密にとり,円滑な事業の進捗管理を実施する。			R3年度の 主な取り組み内容 (予定含む)			移設・整備工事 現時点でなし。		特に環境変化,障害, 課題等解決のため,R3 年度で取り組む改善 策		特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名				
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路移設・整備担当	連絡先	989-8475				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	三原正幸	担当者名	主査	永見 健輔	主査	高市 紀

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(工水)導・送・配水管整備事業(水道管路管理センター分)					事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム			
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト			
施策	上水道等の整備						主な取り組み			
主な取り組み	上水道等の建設・維持					市長公約				
取り組みの柱	施設の建設改良									
総合戦略	基本目標					取組み				
	政策									
	施策									
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						

根拠法令,条例,個別計画等	水道法、道路法、河川法、松山市水道事業給水条例										
事業の目的(どのような状態にするか)	道路、下水道、河川工事等、工業用水道工事以外の工事で支障となる工業用水道管を本体工事に支障とならない位置に移設することが目的であるが、布設替えに合わせて管の耐震化、長寿命化、漏水対策を図り安定供給を確保する。										
背景(どのような経緯で開始したか)	道路改良工事や下水道管布設工事などの他事業に伴い発生するものである。										
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	国・県・市などの工事に伴い、工業用水道管が支障になる場合に移設工事を実施する。										
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	～ 令和 10		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期							

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業会計	款	資本的支出ほか		項	工業用水道建設改良費ほか	目	送水施設費ほか	R2予算措置時期		当初	繰越
				R元年度	R2年度					R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				31,277					12,740				0
決算額(B)(単位:千円)				0					4,230				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0					0				0
	県支出金			0					0				0
	市債			0					0				0
	その他			0					0				0
	一般財源			0					4,230				0
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							道路改良に伴う整備:4,230千円						
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							決算額のうち,4,230千円は前年度繰越分		・道路改良に伴う整備は,新規で「(工水)導・送・配水管整備事業(水道整備課分)」を作成、移管				
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			31,277					8,510				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	移設・整備工事 改良31移設7号交通安全施設等整備工事に伴う配水管及び工水送水管移設工事										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		事業が予定通り実施できた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		他の公共工事との調整を図りながら工業用水道管の整備が図られているため						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし										
R3年度の目標	昨年度に引き続き,関係機関と連絡を密にとり,円滑な事業の進捗管理を実施する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		移設・整備工事 現時点でなし。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策			特になし	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	担当者名	技師	笹方 裕平	技師	松本 潤
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主査	担当者名	主査	森田 直幸	技師	笹方 裕平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(上水)修繕等(水道管路管理センター分)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約				
取り組みの柱	施設の維持管理等								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	水道法第2条、水道ビジョンまつやま2019								
事業の目的(どのような状態にするか)	水道管の漏水修繕など、適切に施設を維持することで、水道水を安定して供給することを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	上水道の給水開始を受けて、安定的な水運用をするため昭和28年から継続して実施している。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	上水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象とし、管路の維持管理業務を行う。(令和元年度末管路延長:約2,245km) 1. 漏水等の修繕の実施・・・漏水箇所や不具合箇所の補修・修理 2. 管路パトロールの実施・・・管路埋設位置の道路上の漏水や弁栓類の動作確認など 3. 洗管作業の実施・・・水質異常(残留塩素低下や水温上昇)などが発生しやすい既存管路の計画的な洗管								
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-			
始期・終期(年度)	昭和	28	～	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用		項	営業費用	目	配水及び給水費ほか	R2予算措置時期		当初
				R元年度	R2年度					R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					211,559				229,022		231,322	
決算額(B)(単位:千円)					219,906				205,562			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金	0				0		0	
				県支出金	0				0		0	
				市債	0				0		0	
				その他	0				0		0	
				一般財源	219,906				205,562		231,322	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								漏水修繕委託:125,679千円 構築物の修繕:78,050千円		漏水修繕委託:131,695千円 構築物の修繕:95,927千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)						-8,347		23,460	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	漏水等の修繕の実施 管路パトロールの実施 洗管作業の実施 など										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		漏水や施設の不具合に対し、迅速に対応することができた。 人事異動に伴い初めて企業局に配属された職員や若手職員に対する技術継承、人材育成及び情報共有を目的として、各種マニュアルを改訂した。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、水道水を安定して供給することができた。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし										
R3年度の目標	計画的に管路を維持管理することで、大規模事故の未然防止に努める。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		漏水等の修繕の実施 管路パトロールの実施 洗管作業の実施 など			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹 門田 耕太郎	担当者名	技師 笹方 裕平	技師	松本 潤
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主査 猪之奥 明範	担当者名	主査 森田 直幸	技師	笹方 裕平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・中島)修繕等(水道管路管理センター分)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約				
取り組みの柱	施設の維持管理等								
総合戦略	基本目標	-							
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	水道法第2条								
事業の目的(どのような状態にするか)	水道管の漏水修繕など、適切に施設を維持することで、水道水を安定して供給することを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	安定的な水運用をするため合併後の平成16年度から継続して実施している。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	中島地区簡易水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象とし、管路の維持管理業務を行う。(令和元年度末管路延長:約107km) 1. 漏水等の修繕の実施・・・漏水箇所や不具合箇所の補修・修理 2. 管路パトロールの実施・・・管路埋設位置の道路上の漏水や弁栓類の動作確認など 3. 洗管作業の実施・・・水質異常(残留塩素低下や水温上昇)などが発生しやすい既存管路の計画的な洗管								
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-			
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	中島地区簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用		目	配水及び給水費ほか	R2予算措置時期	
				項	営業費用			R2年度	R3年度
現計予算額(A)(単位:千円)					11,940		14,021		13,740
決算額(B)(単位:千円)					8,538		5,728		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金		0		0		0
			県支出金		0		0		0
			市債		0		0		0
			その他		0		0		0
			一般財源		8,538		5,728		13,740
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						漏水修繕委託:5,643千円 給水管等修繕材料:85千円	漏水修繕委託:9,126千円 構築物の修繕:3,682千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		3,402		8,293		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	漏水等の修繕の実施 ・管路パトロールの実施 ・洗管作業の実施 など								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など	漏水や施設の不具合に対し、迅速に対応することができた。 人事異動に伴い初めて企業局に配属された職員や若手職員に対する技術継承、人材育成及び情報共有を目的として、各種マニュアルを改訂した。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、水道水を安定して供給することができた。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし								
R3年度の目標	故障等の早期発見、早期修繕に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		漏水等の修繕の実施 ・管路パトロールの実施 ・洗管作業の実施 など		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	担当者名	技師	笹方 裕平	技師	松本 潤
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主査	担当者名	主査	森田 直幸	技師	笹方 裕平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・北条)修繕等(水道管路管理センター分)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約				
取り組みの柱	施設の維持管理等								
総合戦略	基本目標	-							
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	水道法第2条								
事業の目的(どのような状態にするか)	水道管の漏水修繕など、適切に施設を維持することで、水道水を安定して供給することを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	安定的な水運用をするため合併後の平成16年度から継続して実施している。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	北条地区簡易水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象とし、管路の維持管理業務を行う。(令和元年度末管路延長:約12km) 1. 漏水等の修繕の実施・・・漏水箇所や不具合箇所の補修・修理 2. 管路パトロールの実施・・・管路埋設位置の道路上の漏水や弁類の動作確認など 3. 洗管作業の実施・・・水質異常(残留塩素低下や水温上昇)などが発生しやすい既存管路の計画的な洗管								
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-			
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	北条地区簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道事業費用		目	配水及び給水費ほか	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度		R2年度		R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					2,673		2,946		2,744
決算額(B)(単位:千円)					703		1,394		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金			0		0		0
		県支出金			0		0		0
		市債			0		0		0
		その他			0		0		0
		一般財源			703		1,394		2,744
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						漏水修繕委託:1,391千円 給水管等修繕材料:3千円		漏水修繕委託:1,004千円 構築物の修繕:1,733千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			1,970		1,552		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	漏水等の修繕の実施 管路パトロールの実施 洗管作業の実施 など								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など	漏水や施設の不具合に対し、迅速に対応することができた。 人事異動に伴い初めて企業局に配属された職員や若手職員に対する技術継承、人材育成及び情報共有を目的として、各種マニュアルを改訂した。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、水道水を安定して供給することができた。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし								
R3年度の目標	故障等の早期発見、早期修繕に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		漏水等の修繕の実施 管路パトロールの実施 洗管作業の実施 など		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	担当者名	技師	笹方 裕平	技師	松本 潤
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主査	担当者名	主査	森田 直幸	技師	笹方 裕平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)修繕等(水道管路管理センター分)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約					
取り組みの柱	施設の維持管理等									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	工業用水道事業法第14条									
事業の目的(どのような状態にするか)	水道管の漏水修繕など、適切に施設を維持することで、水道水を安定して供給することを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	工業用水道の給水開始を受けて、安定的な水運用をするため昭和27年から継続して実施している。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	工業用水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象とし、管路の維持管理業務を行う。(令和元年度末管路延長:約41km) 1. 漏水等の修繕の実施・・・漏水箇所や不具合箇所の補修・修理 2. 管路パトロールの実施・・・管路埋設位置の道路上の漏水や弁栓類の動作確認 など									
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	昭和	27	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業会計	款	工業用水道事業費用		目	配水及び給水費ほか	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度		R2年度		R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					5,491		6,413		5,076
決算額(B)(単位:千円)					2,469		5,443		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金		0		0		0
			県支出金		0		0		0
			市債		0		0		0
			その他		0		0		0
			一般財源		2,469		5,443		5,076
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						漏水修繕委託:808千円 構築物の修繕:4,635千円	漏水修繕委託:2,113千円 構築物の修繕:2,963千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			3,022		970		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	漏水等の修繕の実施 ・管路パトロールの実施 など								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など	漏水や施設の不具合に対し、迅速に対応することができた。 人事異動に伴い初めて企業局に配属された職員や若手職員に対する技術継承、人材育成及び情報共有を目的として、各種マニュアルを改訂した。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由			本事業の実施により、水道水を安定して供給することができた。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし								
R3年度の目標	故障等の早期発見、早期修繕に努める。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	漏水等の修繕の実施 ・管路パトロールの実施 など		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8484		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	高橋 真也	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	給水装置担当	連絡先	989-8479		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	担当者名			

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(上水)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	施設の維持管理等			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令, 条例, 個別計画等	計量法第2条第4項及び第16条第1項, 計量法施行令第2条及び第18条					
事業の目的(どのような状態にするか)	水道料金を算出する重要な給水装置である水道メーターを取替える。					
背景(どのような経緯で開始したか)	水道メーターは計量法により有効期間が定められているため、有効期間が満了するまでに水道メーターを取替える。					
対象・事業内容(誰に対して, 何をやるのか)	水道メーター 水道メーターの取替えは松山市管工事業協同組合へ委託料を支出しており、組合の作業班が事前に取替えの案内を投函してお知らせした後、取替えている。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合, 基準や金額等 「無し」の場合, その理由		-		
始期・終期(年度)	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用ほか		営業費用ほか		配水及び給水費ほか		R2予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R元年度	R2年度	R2年度	R3年度				
現計予算額(A) (単位:千円)					201,220		222,137		254,507		
決算額(B) (単位:千円)					171,172		201,234				
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0		
	県支出金				0		0		0		
	市債				0		0		0		
	その他				0		0		0		
一般財源					171,172		201,234		254,507		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算, R3→予算						メーター修理及び取替等:129,243千円 メーター購入:54,777千円		メーター修理及び取替等:154,939千円 メーター購入:81,791千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越, 補正, 流用, 事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	30,048		20,903				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	計画的な水道メーターの取替					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点, 悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活の安定に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化, 障害, 課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	取替件数27,424件を目指す。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	計画的な水道メーターの取替	特に環境変化, 障害, 課題等解決のため, R3年度で取り組む改善策	特になし。	

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8484			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	高橋 真也	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	給水装置担当	連絡先	989-8479			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	一色 直樹	担当者名			

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・中島)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約				
取り組みの柱	施設の維持管理等						
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	計量法第2条第4項及び第16条第1項、計量法施行令第2条及び第18条						
事業の目的(どのような状態にするか)	水道料金を算出する重要な給水装置である水道メーターを取替える。						
背景(どのような経緯で開始したか)	水道メーターは計量法により有効期間が定められているため、有効期間が満了するまでに水道メーターを取替える。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	水道メーター 水道メーターの取替えは松山市管工事業協同組合へ委託料を支出しており、組合の作業班が事前に取替えの案内を投函してお知らせした後、取替えている。						
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	中島地区簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	配水及び給水費ほか	R2予算措置時期	
									当初	
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						3,783		1,060		1,501
決算額(B)(単位:千円)						2,537		734		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					0		0		0
	県支出金					0		0		0
	市債					0		0		0
	その他					0		0		0
	一般財源					2,537		734		1,501
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						メーター修理及び取替等:360千円 メーター購入:247千円		メーター修理及び取替等:988千円 メーター購入:365千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				1,246		326		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	計画的な水道メーターの取替					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活の安定に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	取替件数181件を目指す。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	計画的な水道メーターの取替	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8484			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	高橋 真也	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	給水装置担当	連絡先	989-8479			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	一色 直樹	担当者名			

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・北条)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約				
取り組みの柱	施設の維持管理等						
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	計量法第2条第4項及び第16条第1項,計量法施行令第2条及び第18条						
事業の目的(どのような状態にするか)	水道料金を算出する重要な給水装置である水道メーターを取替える。						
背景(どのような経緯で開始したか)	水道メーターは計量法により有効期間が定められているため,有効期間が満了するまでに水道メーターを取替える。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	水道メーター 水道メーターの取替えは松山市管工事業協同組合へ委託料を支出しており,組合の作業班が事前に取替えの案内を投函してお知らせした後,取替えている。						
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	北条地区簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	配水及び給水費ほか	R2予算措置時期	
									当初	
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						71		144		321
決算額(B)(単位:千円)						27		96		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金				0		0		0
		県支出金				0		0		0
		市債				0		0		0
		その他				0		0		0
		一般財源				27		96		321
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							メーター修理及び取替等:61千円 メーター購入:35千円			メーター修理及び取替等:207千円 メーター購入:100千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				44		48		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	計画的な水道メーターの取替					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活の安定に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	取替件数39件を目指す。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	計画的な水道メーターの取替	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8484		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	高橋 真也	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	給水装置担当	連絡先	989-8479		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	担当者名			

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	計量法第2条第4項及び第16条第1項、計量法施行令第2条及び第18条					
事業の目的(どのような状態にするか)	工業用水流量計の正確性を維持するため、流量計取替及び突発修繕に対応する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	工業用水道の流量計測のため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	メーター、ベンチュリー流量計、電磁流量計 メーター取替は、松山市管工事業協同組合へ委託料を支出しており、組合の作業班が事前に取替の案内を投函してお知らせした後、取替えている。 ベンチュリー流量計及び電磁流量計の場合は落雷などによる突発的な故障が発生した場合、製造業者に修繕を依頼する。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業会計	款	工業用水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	配水及び給水費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						2		221		221
決算額(B)(単位:千円)						1		0		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金				0		0		0
		県支出金				0		0		0
		市債				0		0		0
		その他				0		0		0
		一般財源				1		0		221
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算									メーター修理及び取替等:220千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				1		221		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	委託先である松山市管工事業協同組合が計画的な流量計の取替及びメーターによる突発修繕を行うが、R2年度は該当する修繕等は発生しなかった。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活の安定に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	特になし。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	特になし。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	林 駿太郎
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主幹	池田 哲也	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	猪野 恭平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(上水)地図情報・図面管理等	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	施設の維持管理等			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
取組	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	本市の行政情報のうち、上水道の地図や図面、それに付随した台帳や申請書等をコンピュータシステム(都市情報システム上水道サブシステム、給水装置台帳システム)で情報別に一元管理し、さらに検索、集計、分析といった付加機能を設けて、上水道の地図や図面を利用する業務を、省力化・高度化することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	システム導入前は、上水道管路の管理用図面や工事完成図面、給水装置工事承認申請書は紙面やマイクロファイルにてファイリング管理していたが、紛失や誤転記等による情報精度の低下及び事務スペースの確保が問題となっていた。それらを解消し、電子情報を利用して業務を省力化・高度化するために、平成元年度より全庁的な電子地図の整備に関する取り組みである都市情報システムの構築に参加して現在に至っている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	上水道に関する各種システム及び台帳を運用・更新して、地図を利用する業務を支援するとともに、併せて市民からの関連する申請処理の迅速化を継続させる。 ・都市情報システム上水道サブシステムの運用と関連情報の更新及び水道施設台帳の更新 ・給水装置台帳システムの運用と関連情報の更新					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合、基準や金額等 [無し]の場合、その理由		-		
始期・終期(年度)	平成 1	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用		項	営業費用		目	総係費ほか	R2予算措置時期		当初	
				R元年度	R2年度		R3年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)					48,049			50,581				59,159		
決算額(B)(単位:千円)					50,117			48,040						
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支支出金				0				0		
				県支支出金				0				0		0
				市債				0				0		0
				その他				0				0		0
			一般財源		50,117			48,040				59,159		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								地図情報システムの維持管理:40,218千円 給水装置台帳の整備・維持管理:7,498千円			地図情報システムの維持管理:39,159千円 地図情報システムの開発:20,000千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											・(上水)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)へ名称変更 ・給水装置台帳システム関連は、新規で「(上水)地図情報・図面管理等(上下水道サービス課分)」を作成、移管			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)				-2,068		2,541				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・コンピュータシステム(株)へ都市情報システム上水道サブシステムの運用と関連情報の更新 ・コンピュータシステム(株)へ水道施設台帳の更新 ・㈱アイサイトへ給水装置台帳システムの運用と関連情報の更新					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	良かった点:関連するシステム運用や情報の更新に関する委託業務について、当初予定した工程を遵守して満足な成果を挙げたこと。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	地図や図面情報等の迅速な提供によって上水道事業の地図・図面を利用する業務を支援できているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	都市情報システムを開発したメーカーが令和元年度末にマッピング事業から撤退したため、運用・保守を別会社に事業継承している状況である。これにより、バージョンアップ等システムの将来性に関する課題を抱えている。					
R3年度の目標	・地図や図面情報等の迅速な提供によって上水道事業の地図・図面を利用する業務を支援すること。 ・都市情報システム上水道サブシステムの再構築事業を実施すること。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・コンピュータシステム(株)へ都市情報システム上水道サブシステムの運用と関連情報の更新 ・コンピュータシステム(株)へ水道施設台帳の更新 ・㈱アイサイトへ給水装置台帳システムの運用と関連情報の更新 ・都市情報システム上水道サブシステムの再構築事業の実施	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	都市情報システム上水道サブシステムの再構築事業を実施する。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	林 駿太郎
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主幹	池田 哲也	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	猪野 恭平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・中島)地図情報・図面管理等	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
取組	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	本市の行政情報のうち、簡易水道の地図や図面、それに付随した台帳や申請書等をコンピュータシステム(都市情報システム上水道サブシステム、給水装置台帳システム)で情報別に一元管理し、さらに検索、集計、分析といった付加機能を設けて、簡易水道の地図や図面を利用する業務を、省力化・高度化することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	システム導入前は、簡易水道管路の管理用図面は紙面等で管理していたが、紛失や未転記等による情報精度の低下及び情報量の不足が問題となっていた。それらを解消するため、上水道で利用している都市情報システム上水道サブシステム等にて簡易水道の情報を作成して現在に至っている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	簡易水道に関する各種システム及び台帳を運用・更新して、地図を利用する業務を downstream するとともに、併せて市民からの関連する申請処理の迅速化を継続させる。 ・都市情報システム上水道サブシステムの運用と関連情報の更新及び水道施設台帳の更新 ・給水装置台帳システムの運用と関連情報の更新					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合、基準や金額等 [無し]の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 25 ~ 令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	中島地区簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用		目	総係費ほか	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					736	730	612		
決算額(B)(単位:千円)					698	685	612		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0	0		
	県支出金			0	0	0	0		
	市債			0	0	0	0		
	その他			0	0	0	0		
一般財源				698	685	612			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				地図情報システムの維持管理:592千円 給水装置台帳の整備・維持管理:82千円		地図情報システムの維持管理:612千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						・「(簡水・中島)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター)」へ名称変更 ・給水装置台帳システム関連は、新規で「(簡水・中島)地図情報・図面管理等(上下水道サービス課分)」を作成、移管			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	38	45			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・コンピュータシステム(簡水)へ都市情報システム上水道サブシステムの運用と関連情報の更新 ・コンピュータシステム(簡水)へ水道施設台帳の更新 ・簡水サイトへ給水装置台帳システムの運用と関連情報の更新					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	良かった点:関連するシステム運用や情報の更新に関する委託業務について、当初予定した工程を遵守して満足な成果を挙げたこと。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	地図や図面情報等の迅速な提供によって上水道事業の地図・図面を利用する業務を downstream できているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	都市情報システムを開発したメーカーが令和元年度末にマッピング事業から撤退したため、運用・保守を別会社に事業継承している状況である。これにより、バージョンアップ等システムの将来性に関する課題を抱えている。					
R3年度の目標	・地図や図面情報等の迅速な提供によって上水道事業の地図・図面を利用する業務を downstream すること。 ・都市情報システム上水道サブシステムの再構築事業を実施すること。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・コンピュータシステム(簡水)へ都市情報システム上水道サブシステムの運用と関連情報の更新 ・コンピュータシステム(簡水)へ水道施設台帳の更新 ・簡水サイトへ給水装置台帳システムの運用と関連情報の更新 ・都市情報システム上水道サブシステムの再構築事業の実施	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	都市情報システム上水道サブシステムの再構築事業を実施する。	

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	林 駿太郎
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主幹	池田 哲也	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	猪野 恭平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・北条)地図情報・図面管理等	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	本市の行政情報のうち、簡易水道の地図や図面、それに付随した台帳や申請書等をコンピュータシステム(都市情報システム上水道サブシステム、給水装置台帳システム)で情報別に一元管理し、さらに検索、集計、分析といった付加機能を設けて、簡易水道の地図や図面を利用する業務を、省力化・高度化することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	給水装置工事承認申請書は紙面やマイクロファイルにてファイリング管理していたが、紛失や誤転記等による情報精度低下及び事務スペースの確保が問題となっていた。それらの解消と電子情報の利用による業務の省力化・高度化を目的に、給水装置台帳システムを平成14年度に導入し、北条地区では合併後の平成16年度から実施している。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	簡易水道に関する給水装置の台帳を運用・更新して、業務を下支えするとともに、併せて市民からの関連する申請処理の迅速化を継続させる。 ・給水装置台帳システムの運用と関連情報の更新					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 16	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	北条地区簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道事業費用		目	配水及び給水費	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				9	9	0			
決算額(B)(単位:千円)				7	6				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0			
	県支出金			0	0	0			
	市債			0	0	0			
	その他			0	0	0			
一般財源				7	6	0			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				給水装置台帳の整備・維持管理:6千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				・上下水道サービス課に移管					
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			2	3				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	簡イサイトへ給水装置台帳システムの運用と関連情報の更新					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	図面情報等の迅速な提供によって簡易水道事業の図面を利用する業務を下支えできているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	図面情報等の迅速な提供によって簡易水道事業の図面を利用する業務を下支えすること。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	簡イサイトへ給水装置台帳システムの運用と関連情報の更新		特になし

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	森田 直幸	主任	岩崎 崇
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主査	猪之奥 明範	担当者名	主任	岩崎 崇	主任	佐野 文彦

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	53323	(上水)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	豊かな自然と共生する						重点プロジェクト	-				
施策	節水型都市づくりの推進						主な取り組み	-				
主な取り組み	水資源の有効利用					市長公約						
取り組みの柱	漏水防止対策											
総合戦略	基本目標	-					取組み	-				
	政策	-						-				
	施策	-						-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョン2019											
事業の目的(どのような状態にするか)	水道管の漏水調査を実施し、漏水を早期発見、早期修繕することで、水資源の有効活用を図ることを目的とする。											
背景(どのような経緯で開始したか)	水資源に恵まれていない本市では、水道管の漏水防止を水源開発の一環として位置づけ、漏水防止対策事業に取り組んでいる。											
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	上水道の水道管等を対象とし、漏水を早期に発見するため、老朽化が懸念される水道管に重点を置いた調査を実施する。(令和元年度末管路延長:約2,245km) 1. 戸別音聴調査(家庭内のメーターに音聴棒をあて、漏水音の有無を判別する調査)の実施 2. 路面音聴調査(漏水探知器を用いて、道路下に埋設されている水道管の漏水音を路面上から探知する調査)の実施 3. 相關式調査(漏水箇所を挟む2点にセンサーを設置し、漏水箇所から各センサーまで伝わってくる漏水音の時間差によって漏水地点を算出する調査)の実施 など ※ R2委託先:㈱テクノスジャパン、メディアシステム㈱、徳島地中情報㈱											
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由								
始期・終期(年度)	昭和	57	～	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用		営業費用		目	配水及び給水費	R2予算措置時期	当初	
				R元年度	R2年度	R元年度	R2年度					R3年度
現予算額(A)(単位:千円)				76,448		75,910					76,168	
決算額(B)(単位:千円)				74,568		64,930						
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金			0			0			0
			県支出金			0			0			0
			市債			0			0			0
			その他			0			0			0
			一般財源			74,568			64,930		76,168	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								漏水調査(委託):60,940千円 事故多発等給水装置の改良:2,092千円 給水装置の改善:1,898千円			漏水調査(委託):67,309千円 事故多発等給水装置の改良:3,594千円 給水装置の改善:2,677千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	1,880		10,980						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・戸別音聴調査の実施 ・路面音聴調査の実施 ・相關式調査の実施 など										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	継続的に漏水調査を実施し、漏水量が微量な段階で発見することで、早期の修繕が可能となり、大規模な事故につながるような漏水を未然に防ぐことができたため。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、漏水量を抑制し、水を有効利用することができたため。							
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし										
R3年度の目標	漏水の早期発見、早期修繕に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・戸別音聴調査の実施 ・路面音聴調査の実施 ・相關式調査の実施 など		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策		漏水調査業務は、専門性を有する業務であることから、人事異動でその技術が途絶えることがないよう、マニュアルに則り技術を継承していくことや、継続的にOJT等を実施し、漏水調査ができる職員を増やしていく。			

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	森田 直幸	主任	岩崎 崇
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主査	猪之奥 明範	担当者名	主任	岩崎 崇	主任	佐野 文彦

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	53323	(簡水・中島)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	豊かな自然と共生する						重点プロジェクト	-				
施策	節水型都市づくりの推進						主な取り組み	-				
主な取り組み	水資源の有効利用					市長公約						
取り組みの柱	漏水防止対策											
総合戦略	基本目標	-					取組み	-				
	政策	-						-				
	施策	-						-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等												
事業の目的(どのような状態にするか)	水道管の漏水調査を実施し、漏水を早期発見、早期修繕することで、水資源の有効活用を図ることを目的とする。											
背景(どのような経緯で開始したか)	水資源に恵まれていない本市では、水道管の漏水防止を水源開発の一環として位置づけ、漏水防止対策事業に取り組んでいる。合併後の平成16年から実施している。											
対象・事業内容(誰に対して,何を,何をするのか)	中島地区簡易水道の水道管等を対象とし、漏水を早期に発見するため、老朽化が懸念される水道管に重点を置いた調査を実施する。(令和元年度末管路延長:約107km) 1. 戸別音聴調査(家庭内のメーターに音聴棒をあて、漏水音の有無を判別する調査)の実施 2. 路面音聴調査(漏水探知器を用いて、道路下に埋設されている水道管の漏水音を路面上から探知する調査)の実施 3. 相關式調査(漏水箇所を挟む2点にセンサーを設置し、漏水箇所から各センサーまで伝わってくる漏水音の時間差によって漏水地点を算出する調査)の実施 など ※ R2委託先:徳島地中情報術											
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由								
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	中島地区簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用		項	営業費用	目	配水及び給水費	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度					R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)							1,005		4,181		616
決算額(B)(単位:千円)							226		3,256		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0		0
				県支出金			0		0		0
				市債			0		0		0
				その他			0		0		0
				一般財源			226		3,256		616
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							漏水調査(委託):3,256千円		給水装置の改善:471千円 事故多発等給水装置の改良:145千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				779		925		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 戸別音聴調査の実施 路面音聴調査の実施 相關式調査の実施 など 									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	継続的に漏水調査を実施し、漏水量が微量な段階で発見することで、早期の修繕が可能となり、大規模な事故につながるような漏水を未然に防ぐことができたため。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、漏水量を抑制し、水を有効利用することができたため。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし									
R3年度の目標	漏水の早期発見、早期修繕に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> 戸別音聴調査の実施 路面音聴調査の実施 相關式調査の実施 など 		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策		漏水調査業務は、専門性を有する業務であることから、人事異動でその技術が途絶えることがないよう、マニュアルに則り技術を継承していくことや、継続的にOJT等を実施し、漏水調査ができる職員を増やしていく。		